

基準 4 学生の受け入れ

(1) 観点ごとの分析

観点 4 - 1 - : 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜（例えば、準学士課程入学者選抜、編入学生選抜、留学生選抜、専攻科入学者選抜等が考えられる）の基本方針などが記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に公表されているか。

(観点に係わる状況)

木更津高専におけるアドミッション・ポリシーは準学士課程と専攻科課程ごとに明文化されており、将来の学生に対する周知を目的とし、「入学者募集要項」(資料 4 - 1 - - 1)と「専攻科学生募集要項」(資料 4 - 1 - - 2)に記載されている。また、本校のホームページにも掲載されており、学内外に公開されている(資料 4 - 1 - - 3)、(資料 4 - 1 - - 4)。4 学年編入学についても平成 19 年度の「編入学生募集要項」から準学士課程のアドミッション・ポリシーを記載することが決まっている。その他、千葉県内の中学校訪問(資料 4 - 1 - - 5)、各地区で開催される学校説明会(資料 4 - 1 - - 6)において、冊子「進学志望の手引」や「入学者選抜に関する資料」を配布して、説明を行っている(資料 4 - 1 - - 7)。

本校の教員と技術職員に対してアドミッション・ポリシーの認知の度合いを測るため、アンケートを行った(資料 4 - 1 - - 8)。

資料 4 - 1 - - 1

準学士課程のアドミッション・ポリシー (募集要項)

本科のアドミッション・ポリシー

木更津高専では、このようなあなたを求めています。

1. 数学や理科などの理数系科目が得意で科学技術に興味・関心のある人
2. 自ら考え、自ら工夫して新しいものをつくり出す力と実行力を身に付けたい人
3. 将来、指導的立場に立つ技術者になりたい人

※アドミッション・ポリシー…入学者選抜の基本的な考え方

(出典 平成 18 年度 入学者募集要項)

資料 4 - 1 - - 2

専攻科課程のアドミッション・ポリシー（募集要項）

専攻科のアドミッション・ポリシー

木更津高専専攻科では、次のような資質や意欲を持った人を求めています。

1. 専門とする技術分野の基礎学力と工学的素養を備えている人
2. これまで修得した専門分野以外の幅広い工学分野への興味（好奇心）を持っている人
3. 将来、より高度な技術課題に取り組むことのできる基礎能力を身に付けたい人
4. 技術者として社会的責任を自覚し、他者と共同して社会に貢献する意欲を持った人

（出典 平成 18 年度 専攻科学生募集要項）

資料 4 - 1 - - 3

準学士課程のアドミッション・ポリシー（本校ウェブページ）

Since 1967 Kisarazu National College of Technology

国立木更津工業高等専門学校 ようこそ、木更津高専のオフィシャルサイトへ

学校情報

TOP > 入試情報 > 専攻科入試情報 > 編入希望者向け入試情報 > 1日住験入学 > 学校説明会 > 公開講座情報

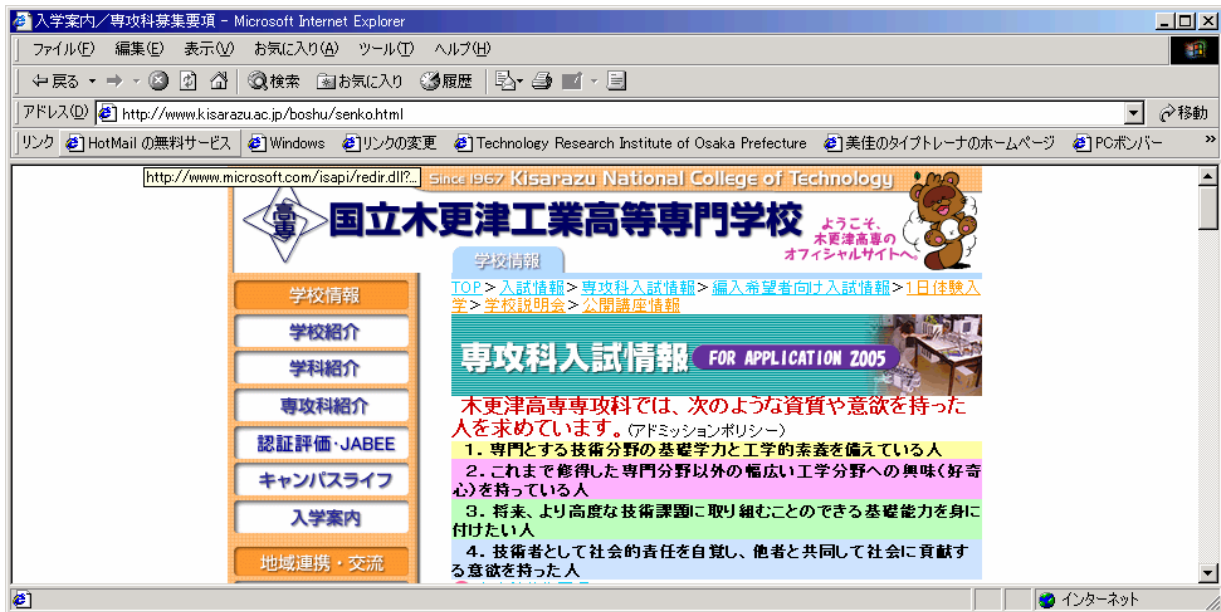
入試情報 FOR APPLICATION 2005

木更津高専では、このようなあなたを求めています。
(アドミッション・ポリシー)

1. 数学や理科などの理数系科目が得意で科学技術に興味・関心のある人
2. 自ら考え、自ら工夫して新しいものをつくり出す力と実行力を身に付けたい人
3. 将来、指導的立場に立つ技術者になりたい人

（出典 <http://www.kisarazu.ac.jp/boshu/info.html>）

専攻科課程のアドミッション・ポリシー（本校ウェブページ）



(出典 <http://www.kisarazu.ac.jp/boshu/senko.html>)

資料 4 - 1 - - 5 (1 / 2)

中学校訪問実施計画書

平成 1 7 年度 中 学 校 訪 問 実 施 計 画

番号	中学校名	学 校 所 在 地	電 話 番 号	担 当 者
1	花園中学校			平 安
	轟張中学校			
	朝日ヶ丘中学校			
	高洲第 1 中学校			
2	花見川第 1 中学校			関 口
	緑ヶ丘中学校			
	小中台中学校			
3	稲毛中学校			大 橋
	草野中学校			
	千葉大学教育学部付属			
4	みつわ台中学校			高橋 C
	幸町第 1 中学校			
	荻田中学校			
	泉谷中学校			
5	白井中学校			栗 本
	土気南中学校			
	蘇我中学校			
6	生涯中学校			鬼 塚
	松ヶ丘中学校			
	椿森中学校			
7	飯山満中学校	山 下		
	大穴中学校			
	妙典中学校			
8	習志野第 1 中学校	上 村		
	習志野第 7 中学校			
	八千代中学校			
	睦中学校			
9	六実中学校	板 垣		
	根本内中学校			
10	湖北中学校	橘 川		
	白山中学校			
	井野中学校			
	佐倉東中学校			
11	白井南中学校	坂 田		
	四街道西中学校			
	酒々井中学校			
12	富里中学校	岡本 E		
	南山中学校			
	栄中学校			
13	栄東中学校	天 摩		
	神崎中学校			
	東金中学校			
14	東金西中学校	東		
	東金北中学校			
	大網中学校			
	白里中学校			
15	増穂中学校	佐 藤		
	九十九里中学校			
	南中学校			
16	早野中学校	佐 藤		
	茂原中学校			
	東中学校			
17	本納中学校	内 田		
	西陵中学校			
	富士見中学校			
	南総中学校			
18	ちばら南中学校	田 村		
	市東中学校			
	辰巳台中学校			
	淵津中学校			
	菊間中学校			
	八幡東中学校			
	若葉中学校			

資料 4 - 1 - - 5 (2 / 2)

19	五井中学校		大 木
	国分寺台中学校		
	国分寺台西中学校		
	東海中学校		
20	三和中学校		室 井
	双葉中学校		
	市原中学校		
	加茂中学校		
21	千種中学校		大 塚
	姉崎中学校		
	有秋中学校		
	姉崎東中学校		
22	昭和中学校		鎌 田
	長浦中学校		
	藏波中学校		
	環形中学校		
23	岩根中学校		高 上 岡本D
	金田中学校		
	岩根西中学校		
	中郷中学校		
24	木更津第一中学校		荒 木
	木更津第二中学校		
	木更津第三中学校		
	太田中学校		
25	清川中学校		石川E
	鎌足中学校		
	波岡中学校		
	畑沢中学校		
26	周西中学校		黒 田
	周西南中学校		
	君津中学校		
	富津中学校		
27	八重原中学校		鈴木M
	固南中学校		
	小糸中学校		
	清和中学校		
28	平川中学校		鷺 田
	富来田中学校		
	久留里中学校		
	小櫃中学校		
29	亀山中学校		大 澤
	松丘中学校		
	大多喜中学校		
	大多喜西中学校		
30	国吉中学校	石 井	
	御宿中学校		
	大原中学校		
	柳中学校		
31	大貫中学校	斉 藤	
	佐藤中学校		
	天羽中学校		
	天羽東中学校		
32	富浦中学校	五十嵐	
	富山中学校		
	鯨南中学校		
	鯨南中学校		
33	館山第1中学校	熊 谷	
	館山第2中学校		
	館山第3中学校		
	房南中学校		

合計 123校

(出典 学生課資料)

学校説明会報告書

平成17年度 学校説明会等実施報告

平成17年11月 1日

学校説明会

年 月 日	場 所	出 席 者				
		17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
7月17日(日)	市川・現代産業科学館	31名	17名	10名	8名	10名
7月28日(木)	佐原市中央公民館	11名	5名	4名	5名	2名
8月 1日(月)	東葛テクノプラザ	25名	38名	13名	14名	21名
8月 2日(火)	茂原市駅前学習プラザ	8名	5名	7名	13名	22名
8月 3日(水)	南総文化ホール	5名	4名	3名	8名	9名
8月 3日(水)	成田市中央公民館	20名	22名	11名	33名	23名
8月 4日(木)	銚子市公正市民館	11名	9名	7名	6名	3名
8月 5日(金)	千葉市教育会館	34名	24名	28名	36名	17名
10月 2日(日)	木更津高専(生徒・保護者)	248名	158名	255名	230名	226名
10月 3日(月)	木更津高専(教諭)	16名	9名	20名	29名	29名
	合 計	409名	291名	358名	382名	362名

首都圏進学フェア

年 月 日	場 所	出 席 者				
		17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
8月20日(土)	幕張メッセ	29名	50名	56名	47名	27名
8月21日(日)	幕張メッセ	30名				
10月 2日(日)	柏	14名	松戸20名			
10月30日(日)	木更津市民会館	25名	26名	36名		
	合 計	98名	96名	92名	47名	27名

その他の説明会

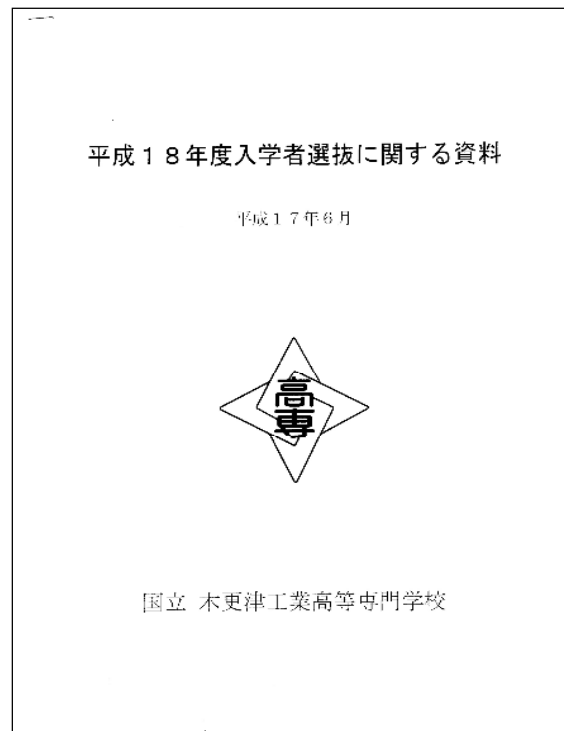
年 月 日	場 所	出 席 者				
		17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
9月18日(日)	船橋(学習塾)	43名				
10月 4日(月)	君津地方公立高校合同説明会	80名	80名	80名	80名	80名
10月14日(金)	市原市私立高校等合同説明会	30名	30名	30名	30名	30名
10月25日(月)	進学塾対象説明会	30名	25名	9名	5名	2名
	合 計	183名	135名	119名	115名	112名

学園祭時入試相談コーナー

年 月 日	場 所	出 席 者				
		17年度	16年度	15年度	14年度	13年度
10月29日(土)	木更津高専	21組	17組	中止	32組	32組
10月30日(日)	木更津高専	36組	17組	中止	39組	34組
	合 計	57組	34組	中止	71組	66組

(出典 学生課資料)

「進学志望の手引」や「入学者選抜に関する資料」



(出典 学生課資料, 現地閲覧資料 4 , 5)

資料 4 - 1 - - 8

アドミッション・ポリシーの周知を測るアンケート

教員

設問（選択肢）	回答欄
準学士課程のアドミッション・ポリシーを理解していますか。 1 十分理解している 2 ほぼ理解している 3 少し理解している 4 ほとんど理解していない	
専攻科のアドミッション・ポリシーを理解していますか。 1 十分理解している 2 ほぼ理解している 3 少し理解している 4 ほとんど理解していない	

設問	1	2	3	4
準学士課程のアドミッション・ポリシーを理解していますか。	26	29	14	2
専攻科のアドミッション・ポリシーを理解していますか。	24	34	11	2

(計 71 名)

技術職員

設問（選択肢）	回答欄
準学士課程のアドミッション・ポリシーを知っていますか。 1 よく知っている 2 だいたい知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない	
専攻科のアドミッション・ポリシーを知っていますか。 1 よく知っている 2 だいたい知っている 3 あまり知らない 4 全く知らない	

設問	1	2	3	4
準学士課程のアドミッション・ポリシーを知っていますか。	14	4	1	0
専攻科のアドミッション・ポリシーを知っていますか。	13	5	1	0

(計 19 名)

(出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程と専攻科課程ごとにアドミッション・ポリシーが明文化されており、募集要項とウェブページにより学内外に公開されている。4学年編入に関しても平成19年度の募集要項から準学士課程のアドミッション・ポリシーが記載されることが決まっている。また、準学士課程のアドミッション・ポリシーは難しい表現を使うのを避け、中学生にも理解しやすい内容になっている。他にも千葉県内の中学校への訪問、各地区で開催する学校説明会によってアドミッション・ポリシーの周知に努めている。

教員に対するアンケート結果は回答者数71名に対して準学士課程のアドミッション・ポリシーを十分若しくはほぼ理解していると回答した者が55名(77%)、専攻科課程のアドミッション・ポリシーに関しては58名(82%)、多数の教員が認知しているといった結果が得られた。技術職員に対するアンケート結果は回答者数19名に対して準学士課程のアドミッション・ポリシーをよく知っているもしくは、だいたい知っていると回答した者が18名(95%)、専攻科課程のアドミッション・ポリシーに関しても18名(95%)、ほとんどの技術職員が認知しているといった結果が得られた。

観点4-2-2 : アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

(観点に係わる状況)

準学士課程の入学者選抜の方針はアドミッション・ポリシーに沿って各学科での勉学に支障のない学力、目的意識と学習意欲を備えた人物を選抜する方針であり、資料4-2-2-1に示す選抜基準に基づいて行われている。「推薦入学者選抜」は学力試験を免除し、調査書における内申点のうち主要5教科(国・社・数・理・英)の配点を2倍にする傾斜配点によって学力を判断すると共に調査書及び推薦書記載事項に対する質問事項を含む面接並びに作文の評価によって適性を評価している。「一般入学者選抜」は主要5教科(国・社・数・理・英)について学力検査を行い、その内の数学、理科、英語の得点を2倍にする傾斜配点によって理数系科目が得意な人物を選抜している。

4学年への編入学選抜の方針は、高等学校を修了もしくは修了見込みの者に対して本校の各学科での勉学に支障のない学力と目的意識、意欲を十分備えた人物を選抜する方針であり、資料4-2-2-2に示す選抜基準に基づいて学力試験並びに面接の結果から選抜している。学力試験においては、数学、理科、英語及び専門科目について本校の準学士課程3年次までに修得しておくべき内容を考慮した試験範囲となっている。

専攻科課程の入学者選抜はアドミッション・ポリシーに沿って各専攻での勉学に支障のない学力、目的意識と学習意欲を備えた人物を選抜する方針であり、資料4-2-2-3に示す選抜基準に基づいて行われている。「推薦入学者選抜」は目的意識、意欲と共に学力を評価するため、専門科目に関する口頭試問を含む面接を行っている。「一般入学者選抜」では専門とする技術分野の基礎学力を備えた人物を選抜するため、専攻ごとに専門に関する試験問題を作成し学力試験を行っている。

平成 18 年度の入学選抜方法について (準学士課程)

平成 18 年度の入学者選抜方法について

1. 推薦入学者選抜

①定員 60名 (各学科12名)

②評価方法

調査書・推薦書・面接・作文に基づき、次式により評価点を計算し、上位から合格とします。

評価点(450点) = 内申点(350点) + 適性点(100点)

$$\begin{array}{c} \uparrow \\ \text{内申点(350点)} = \text{主要5教科点(125点)} \times 2 + \text{技能4教科点(100点)} \\ \text{(国・社・数・理・英)} \qquad \qquad \qquad \text{(音・美・体・技)} \end{array}$$

- ・各教科点は、第2学年の5段階評点と第3学年の5段階評点との積です。
- ・適性点は、推薦書記載事項に対する質問を含む面接、および作文に関する評価点です。

③推薦基準

5段階評定において、原則として、主要5教科(国・社・数・理・英)の評点の平均が4以上、かつ、技能4教科(音・美・体・技)の評点の平均が3以上である者。

ただし、昨年度の場合、上記内申点の合格最低点(ボーダーライン)は約285点でした。

これは、主要5教科の評点が4.5、技能4教科の評点が4.5の場合にはほぼ相当します。

(主要5教科がオール4.5、技能4教科がオール4.5の場合)

$$\begin{aligned} & (\text{第2学年評定の}4.5 \times \text{第3学年評定の}4.5) \times \text{主要5教科} \times 2 = 202.5 \text{点} \\ & + (\text{第2学年評定の}4.5 \times \text{第3学年評定の}4.5) \times \text{技能4教科} = 81.0 \text{点} \\ & \text{内申点のボーダーライン} = 283.5 \text{点} \end{aligned}$$

④推薦方法

千葉県の県立高等学校では「自己推薦」による特色化選抜制度が導入されていますが、本校では従来どおり「在籍中学校の校長推薦」とします。

2. 一般入学者選抜

①定員 本校第一志望者 140名 (各学科28名)

本校第二志望者 若干名 (④参照)

- ・本校第一志望の合格内定者は、公立高校の合格発表日より前に、原則として本人が来校して入学確約書を提出しなければなりません。
- ・本校第二志望者には、第二次選抜(面接)の対象者の受験番号を中学校長宛に通知します。公立高校の合格発表日の翌日に、対象者に面接を実施して合否を決めます。

②学力検査

入試の学力点は、各科目(国・社・数・理・英)の得点をTスコア(いわゆる偏差値、次ページ参照)に換算した後、数・理・英の3科目を2倍の重みで傾斜配点します。

$$\text{学力点} = \text{国語} + \text{社会} + (\text{数学} + \text{理科} + \text{英語}) \times 2$$

③選抜方法

- ・まず、本校第一志望者について学力点だけにより上位90名を順位付けします。次に、上記90名以外の本校第一志望者について、学力点+内申点(推薦と同じ評価方法)により順位付けします。この順位付けに従い、学科ごとにその学科を第1希望とするものについて上位から順に28名(合計140名)を合格とします。なお、末尾において、第2～3希望学科へのスライド合格の場合があります。

(出典 平成18年度入学者選抜に関する資料 2頁)

4 学年への編入の選抜方法

 選考方法

学力試験，調査書，面接の結果を総合して選考する。

1 学力試験科目は、数学（基礎）・英語・理科・数学または各専門科目

試験科目	試験範囲
数 学（基礎）	「数学 Ⅰ」・「数学 Ⅱ」 「数学 A」（確率を除く） 「数学 B」のうち，数列，ベクトル（空間におけるベクトルを除く）
英 語	「英語 Ⅰ」および「英語 Ⅱ」
理 科	「物理 Ⅰ」・「化学 Ⅰ」・「物理 Ⅱ」と「化学 Ⅱ」のいずれかを選択
選択科目	
数 学	「数学 Ⅲ」（積分法を除く） 「数学 B」のうち，ベクトル 「数学 C」のうち，行列とその応用
機械工学科	(1)機械に働く力と仕事 (2)材料の強さ (3)歯車 (4)鉄鋼材料 (5)各種の工作法
電気電子工学科	(1)直流回路 (2)電流と磁気 (3)静電気 (4)交流回路
電子制御工学科	(1)力学(力とエネルギー) (2)電気と磁気
情報工学科	(1)電気回路 (2)論理回路 (3)コンピュータの基本構成 (4)数の表現と処理 (5)ソフトウェアの基礎知識 (6)プログラミング技法
環境都市工学科	(1)土木構造物と力 (2)静定構造の計算 (3)静水及び流水の性質

(出典 <http://www.kisarazu.ac.jp/boshu/hennyu.html>)

平成 18 年度の入学選抜方法について (専攻科課程)

推薦選抜

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)、出身学校長から提出された調査書及び健康診断書の結果を総合して行う。

選抜日時

日 時	科 目	時 間	場 所
平成 17 年 5 月 12 日 (木)	面 接	10:00~	木更津工業高等専門学校

学力選抜

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験の成績、調査書及び面接の結果を総合して行う。

①選抜日時

日 時	科 目	時 間	場 所
前 期 平成 17 年 6 月 3 日 (金)	英 語	9:00~ 9:50	木更津工業高等専門学校
後 期 平成 17 年 11 月 1 日 (火)	数 学	10:00~ 10:50	
	専門科目	11:00~ 12:30	
	面 接	13:30~	

②出題分野 (専門科目は 1 専攻を選択する)

試 験 科 目	出 題 分 野
英 語 (注) TOEIC の点数による免除 制度あり (下記参照)	実用英検 2 級・工業英検 3 級・TOEIC 400 点・ TOEFL ペーパー版 435 点/CBT 120 点程度 ただし、リスニング試験は行わない
数 学	微分積分、線形代数
専 門 科 目	材料力学、熱・流体力学、電気磁気学、電気回路 より 2 科目選択
	力学、制御工学、電磁気学、電気回路、計算機ハード ウェア、計算機ソフトウェアより 2 科目選択
	構造力学、水理学、土質力学

注) 学力試験においては、TOEIC の点数により英語の学力試験を免除し、TOEIC の得点を英語の試験の得点として代替する制度を導入している。この制度の適用を希望する者は、以下の指示に従うこと。

対 象 者：学力選抜試験日より遡って 2 年以内に TOEIC (木更津高専以外で実施の TOEIC IP を含む) を受験し、その点数が 350 点以上の者。

免除の申請：免除の申請は願書提出時に行うものとし、それ以降の申請は認めない。

提出書類等：「Official Score Certificate (TOEIC IP の場合は Score Sheet)」の原本を提出すること (コピーは不可とする)。なお、提出された原本の返却は行わない。

換 算 方 法：TOEIC の得点について、350 点を 60 点に換算し、350 点を超える分の得点については、0.4 を乗じ、小数点以下を切り捨てた上で、60 点に加算する。
なお、加算の上限は 40 点とする (375 点で 70 点、400 点で 80 点、425 点で 90 点、450 点以上で 100 点となる)。

注 意 事 項：免除を申請した場合、英語の学力試験を受けることは認めない。

(出典 平成 18 年度専攻科学生募集要項)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程，4 学年編入学，専攻科課程の各段階の選抜において，アドミッション・ポリシーに基づいた選抜方法が採用されている。

観点 4 - 2 - : アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証しており，その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

(観点到に係わる状況)

本校における入学者選抜に関連する事項は，教務主事，教務主事補及び各学科・学系の代表者によって構成される入試委員会によって検討されている。アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかという点についても検証がなされている。平成 17 年度の第 6 回入試委員会では特定科目（特に数学）の低得点入学者の入学後の成績等の追跡調査の報告があり、選抜方法の検討が行われた。（資料 4 - 2 - - 1）。

アドミッション・ポリシーに沿った学生が入学しているかを測るため，平成 18 年度の新入生に対して資料 4 - 2 - - 2 に示す内容のアンケートを行った。

資料 4 - 2 - - 1

平成 17 年度入試委員会議事要旨（第 6 回）からの抜粋

(3) その他

前回の委員会で追跡調査を行うことになり、調査結果が配布された。

- ・ 特定科目の低得点入学者の入学後の成績
- ・ 推薦不合格者の一般入試での合格率
- ・ 第 2 志望者の割合

(出典 学生課資料)

資料 4 - 2 - - 2

アドミッション・ポリシーの認知度を測るアンケート（平成 18 年度新入生対象）

設問（選択肢）	
本校では数学と理科が得意な学生を入学させていることを知っていますか．	
1 よく知っている	2 知っている
3 あまり知らない	4 全く知らない
中学生のとき理数系科目が得意でしたか．	
1 得意だった	2 わりと得意だった
3 普通だった	4 苦手だった
何かものを作ることが好きですか．	
1 とても好きだ	2 わりと好きだ
3 あまり好きでない	4 嫌いだ

設問	1	2	3	4	5
本校では数学と理科が得意な学生を入学させていることを知っていますか．	68	110	26	2	0
中学生のとき理数系科目が得意でしたか．	85	92	22	7	0
何かものを作ることが好きですか．	100	94	11	1	0

（計 206 名）

（出典 JABEE 認定・認証評価推進委員会資料）

(分析結果とその根拠理由)

アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかという点については、入試委員会で追跡調査を行う等、選抜方法の検討がなされている。また、「アドミッション・ポリシーに沿った学生が入学したか」を測るために行ったアンケートの結果を見ると、8割以上の学生は理数系の科目が得意でものづくりに興味があると回答している。これらのことから、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入ができたと考える。

観点 4 - 3 - : 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

(観点に係わる状況)

平成 17 年度の準学士課程の入学者数は定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていない(資料 4 - 3 - - 1)。専攻科課程では募集定員 20 名に対して入学合格者数 33 名であり、実入学者数が募集定員の 1.65 倍となっているが、教職員数に比べて入学定員が 20 名と少ないため、教育・研究に支障はでない。

資料 4 - 3 - - 1

平成 17 年度入学状況

入 学 状 況 Applicants and Entrants						
本 科 Department						専攻科 Advanced Engineering Courses (平成17年度入学生)
区 分 Classification	機 械 工 学 科 Mechanical Eng.	電 気 電 子 工 学 科 Electrical and Electronic Eng.	電 子 制 御 工 学 科 Control Eng.	情 報 工 学 科 Information Eng.	環 境 都 市 工 学 科 Civil Eng.	計 Total
募 集 定 員 Statutory Number	40	40	40	40	40	200
志 願 者 数 Applicants	75(8)	65(7)	65(1)	65(10)	67(13)	337(39)
学 力 試 験 入 学 者	31(1)	31(2)	30	29(4)	30(4)	151(11)
推 薦 入 学 者	12(4)	12(4)	12(1)	12(3)	12(5)	60(17)
入 学 者 合 計 Entrants	43(5)	43(6)	42(1)	41(7)	42(9)	211(28)
編 入 学 者 (4 年) Transfers	0	0	0	0	0	0
留 学 生 (3 年) Foreign Students	1	1	0	1	2	5

区 分 Classification	機 械 ・ 電 子 シ ス テ ム 工 学 専 攻 科 Mechanical and Electrical Course	制 御 ・ 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻 科 Control and Information Course	環 境 建 設 工 学 専 攻 科 Civil and Environmental Course	計 Total
募 集 定 員 Statutory Number	8	8	4	20
志 願 者 数 Applicants	20	15(2)	8(5)	43(7)
入 学 者 合 計 Entrants	16	12(1)	5(4)	33(5)

(注) () は女子学生を内数で示す。

(出典 2005 学校要覧 28 頁)

(分析結果とその根拠理由)

平成 17 年度の準学士課程の募集定員 200 名に対して志願者数が 337 名であった。最終的に入学者数は 211 名であり、適正な人数である。専攻科課程は、募集定員 20 名に対して志願者数が 43 名であり、最終的に入学者数が 33 名であった。しかし、本校の教職員数に比べて入学定員がもともと少ないため、教育・研究に支障はない。

(2) 優れた点及び改善を有する点

(優れた点)

本校のアドミッション・ポリシーが準学士課程と専攻科課程ごとに定められ、募集要項及びウェブページによって広く社会に公表されている。この他にも、積極的に学校説明会及び中学校訪問を実施し、アドミッション・ポリシーに沿った学生が集まるよう活動している。

アドミッション・ポリシーに沿った学生を選抜するために、準学士課程の学力選抜においては、数学、理科、英語の得点を2倍にする傾斜配点により理数系の得意な学生を選抜している。

入学者選抜に関する事項を検討する入試委員会において、入学者選抜が適切に行われているか検討されており、必要に応じて入試選抜方法の見直しが行われる。

(改善を要する点)

特になし

(3) 基準 4 の自己評価書の概要

入学者選抜の基本方針となるアドミッション・ポリシーが準学士課程（4 学年編入学を含む）と専攻科課程ごとに明文化されており、募集要項とウェブページに掲載されている。これにより、本校を志望する学生を含め、広く社会に公表されている。また、学内でのアドミッション・ポリシーの周知の度合いを測るアンケートを行い、良好な結果が得られている。

準学士課程における入学者の選抜には、推薦入学者選抜、一般入学者選抜及び 4 学年編入学者選抜があり、各選抜方法において適切な選抜基準に基づいて学生の受入が行われている。

本校では、入学者選抜に関連する事柄は入試委員会で検討されており、アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかといった点についても検証がなされている。この他に、新入学生に対してアドミッション・ポリシーに沿った学生の受入がなされたかどうかを測るアンケートを行った結果、良好な結果が得られている。

平成 17 年度の準学士課程の実入学者数は定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていない。専攻科課程では募集定員に対して実入学合格者数が 1.65 倍となっているが、教職員数に比べて入学定員が少ないため、教育・研究指導に支障はでていない。